

食と景観による地域活性化セミナー

食と景観による地域活性化セミナー



3月2日(金)、倶知安町の後志総合振興局2階講堂において、「食と景観による地域活性化セミナー」を開催しました。本セミナーは、後志地域の課題解決に向けて当部が主催したもので、管内の食や観光の関係者約70名が参加しました。

講師の吉本平史氏は、主にホスピタリティマネジメント(おもてなしの心はいかにあるべきか)について講演され、自身が後志地域で携わった食関連の開発・販売支援の事例について、その成功要因も含めて話されました。

その後、事例紹介として北海道局の本保開発専門官からフランスSRG制度(※)について紹介していただくとともに、赤井川村農業元気グループTogetherの石川代表からは「農業生産者が取り組む景観づくり・おもてなしの紹介」と題し、地域での取組事例を発表していただきました。

参加者からは、「おもてなしの気持ちとは、具体的に何を考えて何をすべきかわかりとても良かった。」との感想を始め、「参考になった。」という声が多数寄せられました。

※フランスのSRG制度とは、「良質な食」、「景観・建築物」、「これらを守る人」、の各要素が揃った場所を「味の景勝地」として指定し、食品と地域の価値を高めることで地域を活性化する制度。



挨拶する
山口小樽開発建設部長



講師の吉本平史氏



北海道局の本保開発専門官



Togetherの石川代表



講演終了後、質問する参加者

